

電解・燃料電池スタックの解析から開発まで ～カーボンニュートラル社会の実現のために～

再生可能エネルギーからのエネルギー循環に必要な技術開発に貢献します
グリーン燃料を生成する電解と、発電装置である燃料電池を対象としています

背景

電解[EC]と燃料電池[FC]:双方向の技術の必然性

- カーボンニュートラル宣言以降、世界的に脱炭素社会への潮流が急激に大きくなり、再生可能エネルギーを用いた燃料のグリーン化が求められています
- 燃料の製造にはECが最も注目されており、H₂の製造には水電解や水蒸気電解が、液体燃料やプラスチックの原料となる炭化水素の製造には共電解が有望視されています
- FCは、燃料の化学エネルギーを、高効率で電気エネルギーに変換する方法として、自動車・定置用を含め、本格的に実用化されつつあります



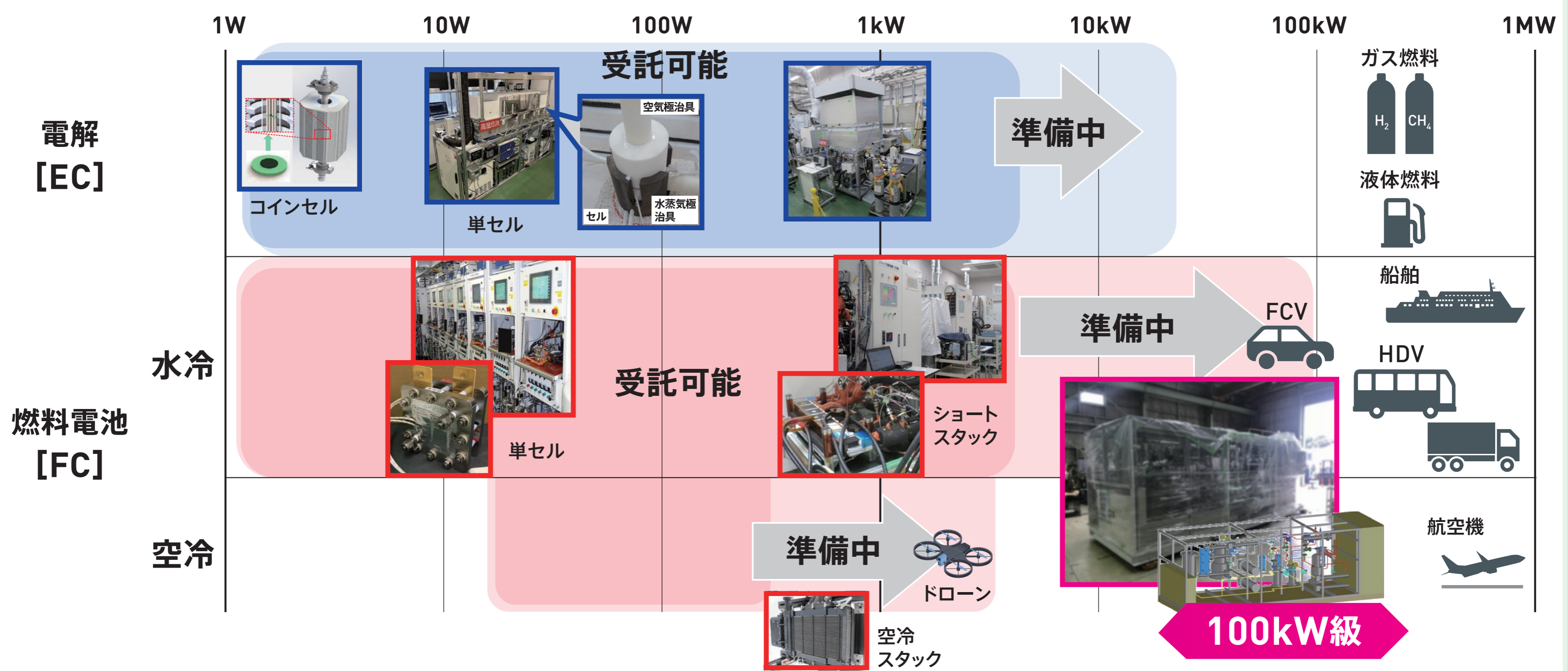
KRIの評価技術の特徴

幅広い方式や用途、規模に応じた評価試験を行っています

- 高温型/低温型の両方のECとFCのスタック評価実施
- KRI独自の評価装置による柔軟な評価試験を実現
- 複雑なプロトコル評価を、24時間プログラム運転により実施
- 露点、流量、温度の高精度な制御

受託可能なセル形式

電解: SOEC、PEMEC、AEMEC、AWE
燃料電池: SOFC、PEFC



ご提案

社外試験用ラボとしてご活用ください

- 電解評価試験と同時に、燃料電池としての発電評価試験の実施も可能です
- 電解・燃料電池スタックに止まらず、システム化などの周辺技術にも対応しております
- 発電評価装置のカスタマイズ対応も行っています。特殊条件でも、気軽にお問い合わせください

一緒なら、
見つける
答えがある。

KRI
Your Innovation Partner

株式会社KRI
TEL: 06-6464-9237

新エネルギーデバイス開発部
MAIL: kri-ned@ml.kri-inc.jp

パネルデータ
こちら▶

